

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第6部門第3区分

【発行日】平成28年8月12日(2016.8.12)

【公開番号】特開2016-45659(P2016-45659A)

【公開日】平成28年4月4日(2016.4.4)

【年通号数】公開・登録公報2016-020

【出願番号】特願2014-168796(P2014-168796)

【国際特許分類】

G 0 8 G 1/16 (2006.01)

B 6 0 R 21/00 (2006.01)

【 F I 】

G 0 8 G 1/16 C

B 6 0 R 21/00 6 2 1 C

B 6 0 R 21/00 6 2 1 B

B 6 0 R 21/00 6 2 4 C

B 6 0 R 21/00 6 2 4 B

B 6 0 R 21/00 6 2 6 G

B 6 0 R 21/00 6 2 6 C

【手続補正書】

【提出日】平成28年6月22日(2016.6.22)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

乗員に通知を行なう通知手段(5, 6, 7)を有する自車両(1)に搭載され、前記通知手段に対して他車両に関する前記通知の通知信号を出力する車両用通知装置であって、前記自車両が車線変更可能な道路に存在しているか否かを判定する判定手段(S20, S220)と、

前記判定手段により肯定判定が下された場合に、前記自車両と前記他車両との距離(Lp, Lf)と、前記他車両の前記自車両に対する相対速度(Vrp, Vrf)とに基づいて、前記通知信号の有無を決定する通知決定手段(S30, S50, S250)と、を備え、

前記通知決定手段は、

前記自車両よりも後方の前記他車両が異なる車線に存在する場合であっても、前記自車両よりも前方の前記他車両が同じ車線に存在しない場合、前記後方の他車両との前記距離及び前記相対速度に拘らず、前記通知信号を無しと決定することを特徴とする車両用通知装置。

【請求項2】

前記通知決定手段(S30, S50)は、

前記距離が設定距離(Lps, Lfs)よりも大きい場合において、前記距離と前記相対速度に基づいて算出される余裕時間(Tp, Tf)が設定時間(Tps, Tfs)以下の場合、前記通知信号を有りと決定することを特徴とする請求項1に記載の車両用通知装置。

【請求項3】

前記通知決定手段(S250)は、

前記距離 ( $L_f$ ) が設定距離 ( $L_{fs}$ ) 以下の場合に、前記通知信号を有りと決定し、前記距離が前記設定距離よりも大きい場合において、前記相対速度 ( $V_{rf}$ ) が所定速度 ( $V_{rfs}$ ) 以上の場合、前記通知信号を有りと決定することを特徴とする請求項 1 又は 2 に記載の車両用通知装置。

【請求項 4】

前記自車両が有し、前記乗員により運転操作される操作部 (4) の操作と、前記距離 ( $L_f$ ) と、前記相対速度 ( $V_{rf}$ ) とに基づいて、前記通知の方法及び内容を選択する通知選択手段 (S60) を備えることを特徴とする請求項 1 から 3 のいずれか 1 項に記載の車両用通知装置。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0006

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0006】

本発明は、乗員に通知を行なう通知手段 (5, 6, 7) を有する自車両 (1) に搭載され、通知手段に対して他車両に関する通知の通知信号を出力する車両用通知装置であって、

自車両が車線変更可能な道路に存在しているか否かを判定する判定手段 (S20, S220) と、

判定手段により肯定判定が下された場合に、自車両と他車両との距離 ( $L_p, L_f$ ) と、他車両の自車両に対する相対速度 ( $V_{rp}, V_{rf}$ ) とに基づいて、通知信号の有無を決定する通知決定手段 (S30, S50, S250) と、を備え、

通知決定手段は、

自車両よりも後方の他車両が異なる車線に存在する場合であっても、自車両よりも前方の他車両が同じ車線に存在しない場合、後方の他車両との距離及び相対速度に拘らず、通知信号を無しと決定することを特徴とする。